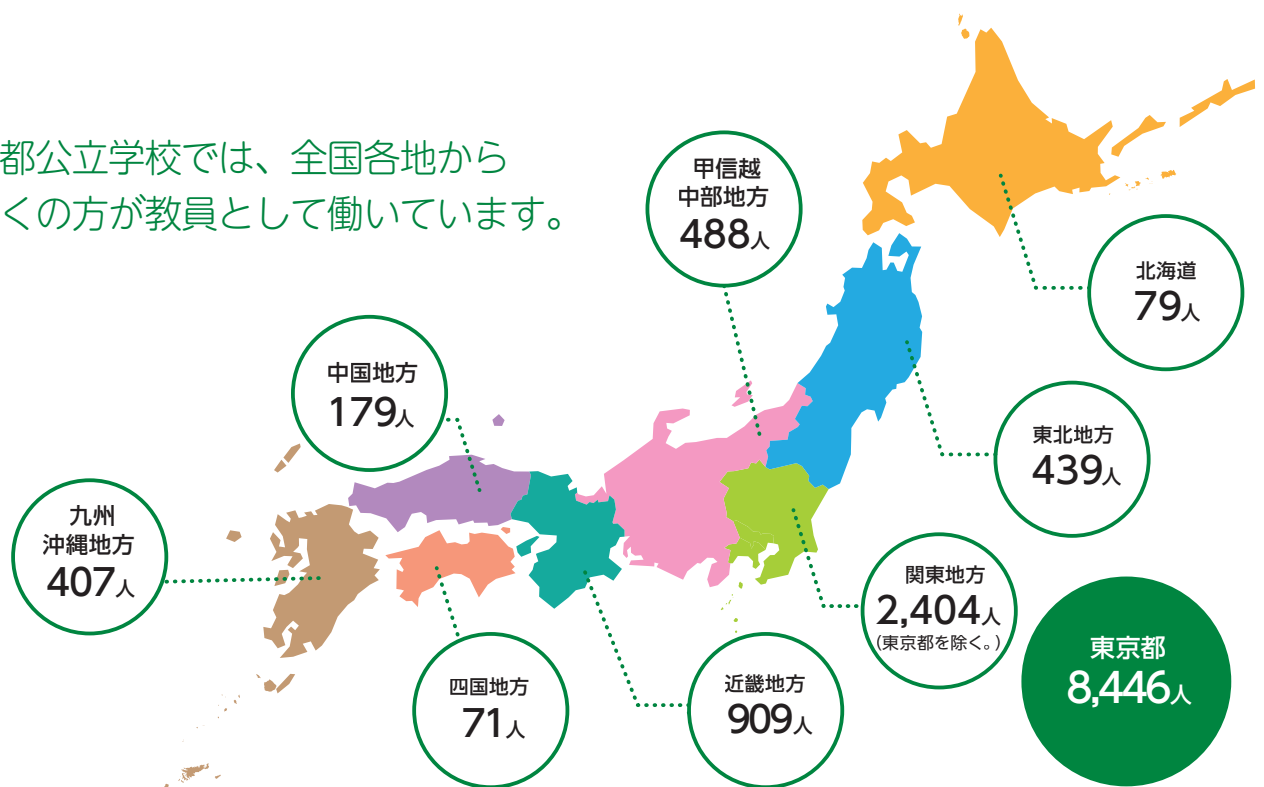


TOKYO STAGE 東京で暮らす

東京都公立学校では、全国各地から数多くの方が教員として働いています。



地域別応募状況【平成30年度選考（31年度採用）状況】

東京の生活①



小学校勤務

Aさん（男性）

採用2年目

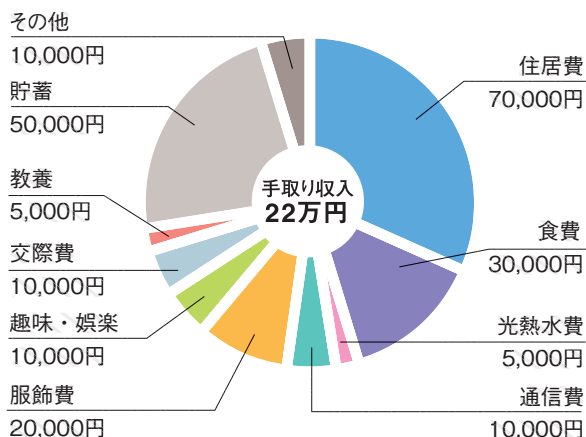
手取り月収 22万円

暮らしている街 国分寺市

私が住んでいる国分寺市は、緑も多く落ち着いた場所です。都心からは少し離れていますが、電車の本数が多く、特に不便には感じません。

市部なので23区内に比べて家賃は安いと思います。月の生活費では、食費がかさんでしまうことが多いです。しかし、毎月貯金ができ、趣味も楽しんでいるので、今の生活はとても充実しています。

生活費内訳



東京の生活②



小学校勤務

Bさん（女性）

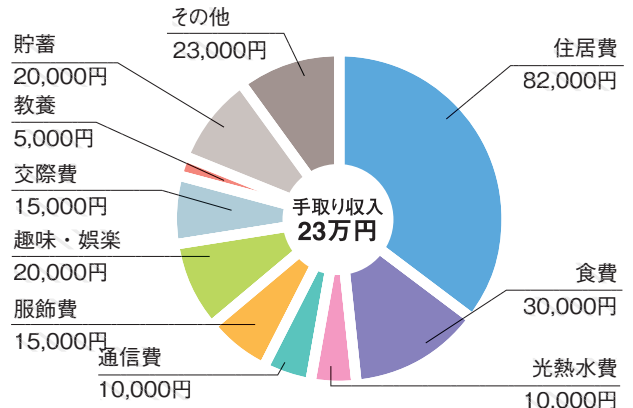
採用3年目

手取り月収 23万円

暮らしている街 大田区

自炊をすることを心掛け食費を節約しています。どうしても毎月の家賃に一番出費がかさみますが、節約を意識し、少しずつ貯蓄もできるようになりました。初めは、慣れない都内での生活に戸惑うばかりでしたが、今では自分の知らないスポットに足を運んだり、ショッピングに出掛けたりするなど、東京での生活を満喫しています。

生活費内訳



TOKYO STAGE

金子 剛 (Kaneko Tsuyoshi) 主幹教諭 大田区立東六郷小学校 平成 20 年度採用 宮城県出身



「都会の人は冷たい」そんなふうにいる方がいるのではないでしょう。私もそう思っていた一人です。しかし、現在は多くの信頼できる先生方と共に働くことができます。東京の教員には多くの地方出身の方がいます。私が今まで出会った方も、北海道から沖縄まで幅広くいます。新しい環境の中での不安は皆同じだと思いますが、どの学校でも皆支え合い、いきいきと楽しく働いています。また東京の教員は年齢層が比較的若く、歳の近い仲間と教育について語らいながら楽しく仕事ができます。

今では様々な教科研究会や研究会などに参加し、多くの新しい仲間との出会いがあります。出会った仲間と実際に街に出かけたり、教材研究を行ったりしています。不安に思っていた「人との出会い」は、今では喜びになっています。様々な出身地、考え方の先生方と出会えることは東京都で教員をする上での大きな魅力の一つです。

西田 智春 (Nishida Chiharu) 教諭 町田市立町田第五小学校 平成 27 年度採用 宮城県出身

教員は、未来ある子供たちの前に立つ仕事です。だからこそ、自分自身が輝き、学び続けていかなければならないと考えています。東京では、伝統を体験したり、昔の文化に触れたり、未来を体験したりすることができます。子供も、我々教員も様々な体験ができるチャンスが多いので、世界観を広げることにもできますし、社会や地球への興味や関心を深めることもできます。また、東京都は研修制度が大変充実しています。毎年春に送られてくる「研修案内」の厚さには驚かされます。メニューが豊富で、どの研修に参加しようかと毎回迷ってしまうくらいです。自分に必要な研修を選ぶことで、教員に求められる基本的な力を確実に育成し、教員の専門性を高めることができます。東京都には、自分自身が輝き、学び続けられる環境があります。東京都で一緒に働きましょう。



森田 諒子 (Morita Ryoko) 主任教諭 江戸川区立葛西小学校 平成 22 年度採用 兵庫県出身



東京都で働くことのメリットの一つは、学ぶ機会や制度が充実していることです。就職前には、教職大学院や東京教師養成塾で学ぶことができ、働き始めてからも、東京教師道場などで専門性を磨くことができます。

また、採用人数が多いため、同期が多く、悩みを共有したり、生涯付き合っていける仲間ができたりしたこともメリットでした。私は9年目ですが、初任者研修で出会った仲間とは今でもつながっており、仕事の相談はもちろん、プライベートでも親しくしています。

地方と東京都の大きな違いは、選択肢の多さだと思っています。様々な研修、施設、イベントなど学びの場や教材研究のネタが山ほどありますので、学校の外で新たな学びにチャレンジしたい人にもぴったりの環境だと思います。是非、東京都の教員になってほしいと思います。